

キャリアコンサルティング技能検定 1 級 学科・実技（論述）試験 合格体験記

平成 29 年 3 月 22 日

1 級受検番号 NO 03F1120046

氏名 Y.M.

1 試験に向けた準備の状況(具体的に)

| | 学科 | 実技（論述・面接） |
|-------------------------------|---|--|
| いつ頃から始めたか、どのような時間帯か | 2015 年後期 2 級学科のための勉強から引き続き 2 級 CC 合格後 1 級用に 5 月頃からスタート ひたすら夜の時間を活用 | 論述は、7 月頃からスタート夜の時間帯を活用。 面接は、ロープレケースが届いてから |
| どのような内容を、どの程度行ったか (参考テキスト) | 「キャリアの赤本」「キャリアの青本 2 冊」「キャリアの青本プラス」「キャリアの青本&赤本」「2 級キャリア・コンサルティング技能検定 一学科試験科目及び範囲別 精選問題解説一(第三版)」 「労働経済白書」「労働経済の分析」「労働市場分析レポート」5 回分過去問を解いた。 | 「国家検定 2 級キャリア・コンサルティング技能検定 一学科問題解説と実技の視点、考え方(第二版)」田中春秋先生のキャリア研修センターVTR とブログ「事例指導を知る ~企業領導編 e-program「キャリアコンサルティングにおけるフレーム」受講 1 級キャリアコンサルティング技能士の会「論述三昧 3 日間」「ロープレ 3 日間」受講 |
| 準備に対する振り返り | 早い時期にじっくり理解しながらキャリアの青本を制覇するとよかつたと思う。過去問該当ページに付箋をつけたが付箋だらけになった。過去問を解いて「諦め問題 15 問」のメドをつけると良いと思う。 | 論述は時間との勝負でもあるが、時間内で過去問全部は追いつかなかった。時間を決めて練習するとよいと思う。 面接も間際でしか、時間内での練習はできなかった。 |
| これから受検する人へのアドバイス | 過去問とキャリアの青本と赤本、労働統計最新版を制覇すれば必ず合格点に達する。早めのスタートが大事。試験前には、何度も過去問を時間内でチャレンジが効果的です。 | 論述は、時間内で何度も解くことを繰り返すのが一番効果的。解き方は、1 級キャ理がコンサルティング技能士の会で講義を受けてください。 面接は、ロープレ 3 日間を受講してください。 |

2 学科試験の状況

①試験開始からの、時間配分を教えてください。

1 問 2 分しか時間がないことを意識して、最初から 1 分しかかけずにとりあえず問題文に●×をつけました。迷った場合もとりあえず△で答えを書いておきました。結果的には残り 15 分くらいで必死に確認しながらマークしました。もう一度問題文とマークが合っているかを確認するための時間をかならず残しておくことを心がけました。
去年は、学科試験だけ申し込んで試験に向かって問題文の解答はしたのに、(最後にマークしようとしたところ、問 50 から逆にマークしていく途中で、1 つズれていたことに気づき、修正し直している間に・・・)試験時間終了となってしまい、最初の 10 問をマークできなくて、不合格となりました。

②最後に解答を見直す時のポイントは？

問題文を読んだ直後に、正しいときは→○を、不適切なときは→×を問題番号のところに書きました。

3 論述試験の状況

(1) 必須問題への取組

① 必須問題の解答にかけた時間はどれくらいですか。その理由は。

実際には、50分くらいです。問3が重いので少しでも点を取れるように1時間の予定で進めました。

② 問1の解答を作成する際に注意したことは何ですか。

相談者Aの問題把握において、相談者Aの発言や反応からCCとしての見立て(CC視点の問題把握)の根拠となる部分をマークしておき整合性を明確にするように注意しました。

③ 問2の解答を作成する際に注意したことは何ですか。

CCとしてやれたこととやれていないこと、またCLの情報や反応のなかで判明していることとわからないことを明確にするよう注意しました。

④ 問3の解答を作成する際に注意したことは何ですか。

面談のフレーム(システムチェックアプローチ)を意識し、ねざらい→C1の問題解決に繋がること、およびCL自らの意思決定を支援することで締めくくれるよう意識しました。また、このCLにとってどのような支援が適切かを意識して、より具体的な表現を使うよう注意しました。

(2) 選択問題への取組

① どの分野を選択しましたか。その理由は何ですか。

教育機関分野

どの分野も取り組みやすい問題でもなかったため、問2が書きやすいという判断で選びました。

② 選択問題の解答にかけた時間はどれくらいですか。その理由は。

選択には40分。まず選択問題を先に解いて、じっくり必須に掛けるつもりでした。まず、問2を記入し、その後に問3を記入、4→問1を記入しようとしたところで、あわてものの私は、選択問題の解答用紙と必須問題の解答用紙を間違えて記入し、あわてて選択問題の解答用紙に写してから消しゴムで消して、必須問題に移るといったハプニングをしでかしてしまいました。(あまりにあわてたので、結果を見るまで選択問題のOをし忘れて戦線離脱組だと固く信じていました。夢うつつそのままマルをしたのか今でも判然としない記憶です)

③ 問1の解答を作成する際に注意したことは何ですか。

CCがやったこととやれてない可能性のあることを明確にしながら、1つでも多く記述できるよう心がけました。

関係構築、CL視点、CC視点(自己理解・仕事理解・認知・キャリアプラン・・・)、問題把握と共有、目標の設定と共有、方策の実行

④ 問2の解答を作成する際に注意したことは何ですか。

優先すべき取り組みべきことを念頭に、まずは・・・で書き出しました。

⑤ 問3解答を作成する際に注意したことは何ですか。

このクライアントの問題解決につながる、この領域特有の環境への働きかけとネットワークを考えられるだけ記入しました。

(3) 1級論述試験合格のポイント

① 論述試験合格に向けてどのような準備をしましたか。

過去問を解き、先輩CCと検討しました。
「論述三昧3日」を受講し、解き方のポイントを習いました。
時間内でまとめられるように、論理的記述の答案修正練習を繰り返しました。解答文をどんどん短くする方向で訓練しました。

② 1級論述試験に合格するためのポイントは何ですか。

「論述三昧3日」を受講し、解き方のポイントを習ったこと。
評価基準の意味を理解する。
時間マネジメントの練習。
論理的な文章の練習
キャリアコンサルティングの面談のフレーム・流れを理解する

(4) これから論述試験を受験する方のためにアドバイスをお願いします。

過去問を解きまくり、その解答どおりに実施すれば、相談者の問題解決につながるのかを具体的に検証する時間が大切です。
また、本当にCCの成長を促し、結果としてCLに提供できる価値が高まるのかを描けるまで検討することが良いと思います。
労働政策や分析の記事は、実際には現実的とはいえない場合もあるが、視点の取り方や表現はすごく参考になりました。

以上